



## 思いは伝わる

校長 ほうらい きしこ 寶來 生志子

先日、「横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム」の一環として、打楽器奏者の齋藤綾乃さん、藤本亮平さんが来てくださいました。このプログラムは、プロのアーティストが直接学校に出向いて、子どもたちが実際に芸術文化の体験をすることにより、未来の横浜を担う人材としての表現力やコミュニケーション力等を身につけることを目指して実施しているものです。演奏後は、一緒にボディパーカッションを楽しみました。



6年生のアンケートの一部を紹介します。

- ♪ みんなで集まって体を動かすことをあまりすることがなかったので楽しかったです。4年の頃のキャンプファイヤーのようでした。何回もアンコールに応じてくれてありがとうございました。
- ♪ 思いを伝えたいという気持ちがあれば、本当にみんなとつながれるのだということを感じ、うれしかったです。また、想像など全くできないような物でも音を作り出すことができるということを知りました。とても楽しい時間でした。

音楽だけでなく、13日に行われる恩田スポーツフェスティバルに向け、スローガンの「思いをたくす 心のバトン」を目指し、各学年頑張っています。コロナ禍で地域の皆様には見ていただくことができないのが残念ですが、保護者の皆様、応援をよろしくお願いします。

「いつもは、大きな声を出して応援していたけれど、今年はどうやって応援したら全校の心がつながるか」応援団のみんながタオルパフォーマンスを考えています。運動会当日は、35周年を記念して、PTAから参加賞としていただいた全校おそろいのタオルを使って応援します。今からとても楽しみです。



タオルにあるキャラクターは6年2組が総合的な学習の時間で取り組み、全校児童の投票により決まったものです。横浜こどもタウンニュースでも紹介されています。こちらをご覧ください。